



アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

2014/3/16

スーパーFJ ツインリンクもてぎシリーズ 第 1 戦

CAR No.36 **M.I.D Japan Inc.** 深村 匠 アルビ玉三郎 GIA ED10V
Mitsui Impress Development

3月16日(日) 予選・決勝

ツインリンクもてぎ 1 LAP=4.801km 出走：15台

予選結果：11位

決勝結果：9位

アルビレックス・レーシング・チームとして今年初のレースとなる茂木シリーズは、昨年に引き続き深村選手が挑む。スーパーFJは今年からタイヤの仕様に変更となり、耐久性が向上した代わりにグリップの低下が見られている。各ドライバーにはこの新しいタイヤへの適応が問われることとなる。

■ 3月16日(日) 予選

天候：晴れ コース：ドライ 気温：7℃ 湿度：53% 路温：10℃

8時50分予選開始。中団でコースインした深村選手は7周目にベストラップをマーク。しかし、昨年とは違うタイヤにフリー走行から苦労していた深村選手はその後3ラップでタイムが伸びず、予選を11番手で終えた。

■ 3月16日(日) 決勝

天候：晴れ コース：ドライ 気温：14℃ 湿度：29% 路温：33℃

12時49分決勝スタート。大きな混乱もなく今季のレースが幕を開けると、2周目、5コーナーでアウトから深村選手が10番手に仕掛ける。立ち上がりで横に並んだ両者はお互い譲らずそのまま並走、130R、S字カーブを抜けていく。

そして2個目のS字の立ち上がり、イン側やや前方にいた相手がリヤをスライドさせてしまい、深村選手の右フロントタイヤと相手の左リヤタイヤがあわや接触しかける寸前まで接近。接触を避けるため深村選手がアクセルを抜いたものの、フロントウイングが接触、

曲がってしまう。

幸いダメージは少なくそのままレースは続行できたものの、フロントウイングの変形によりペースが上がらない。

3周目と6周目に他車のスピンによりポジションを2つ上げたものの、ペースが向上しないまま9位チェッカーとなった。

○深村選手コメント

今年はタイヤが新しくなりましたが、まだうまくタイヤの性能を引き出せていません。レースは接触もあって満足のいくものではありませんでした。やるべきことはわかっているので、次のレースでは修正して望みたいです。

○桜井監督代行コメント

富士シリーズのチャンピオンチームとして挑む今シーズンですが、なかなか厳しい結果となりました。タイヤのグリップダウンの違いを早く掴んで、新しいタイヤを理解することが上位進出のキーポイントになります。引き続きご声援宜しくお願い致します。

※本レースは写真資料がございません。ご容赦下さい。



- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース
- ・ みがき屋エンマ ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ